

タイムック配合内用液の光安定性試験結果

緒言

タイムック配合内用液につき光安定性試験を行い、その安定性について検討したので報告する。

試験検体

タイムック配合内用液 (ポリエチレン製容器)

Lot. 659007

試験結果

〈試験施設〉株式会社応用医学研究所 中央研究所

試験項目	性状 (規格：芳香と甘味を有する白色の 粘稠性のある懸濁液)	pH (規格：7.3～8.5)	定量 ^{※1)} (規格：90～110%)	
			酸化アルミニウム	水酸化マグネシウム
試験開始時	芳香と甘味を有する白色の 粘稠性のある懸濁液であった	8.26	100	100
光 60 万 lx・hr	芳香と甘味を有する白色の 粘稠性のある懸濁液であった	8.27	100.1	99.9

※1) 試験開始時を 100 とした残存率で示した。

(平均値, n=3)

結論

タイムック配合内用液につき光安定性試験を行った結果、いずれの試験項目においても、試験開始時と比較して光 60 万 lx・hr 後でほとんど変化を認めなかった。これにより、本品の光安定性は問題ないと考えられた。